

## ◆ 今週のコメント

- 細菌性赤痢の報告が1例あり、本年初めての報告です。男性、61歳、症状は下痢、推定感染地域はエジプトほか、推定感染経路は経口感染です。平成18年以降では、平成18年3例、平成19年4例、平成20年1例が報告されており、年齢別では20歳代(5例)が最も多く、推定感染地域はすべて国外(インド 5例、バングラデシュ 1例、フィリピン 1例、南アフリカ 1例)となっています。
- 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は7.17で、過去5年平均値(5.65)を上回っています。

## ◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

- インフルエンザの定点当たり報告数は9.79で、注意報の目安となる10.0に近付いており、すでに11行政区中5行政区では注意報(10.0)を超えています。  
詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数報告の感染症

- 三類:細菌性赤痢 1例【1月以降の累積報告数 1例】

### 定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	9.79	666
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.17	294
	② 水痘	1.05	43
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.46	19
	④ 流行性耳下腺炎	0.37	15
	⑤ 突発性発しん	0.34	14
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

### 病原体情報

(検体名は、紙面の都合上、咽頭ぬぐい液をNP、糞便をFC、髄液をSF、尿をURと略す。)

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名
RSウイルス(1)	かぜ症候群(第46週)	NP	A群溶血性レンサ球菌(2)	インフルエンザ(第46週) かぜ症候群(第47週)	NP NP
血清型病原大腸菌(1)	感染性胃腸炎(第46週)	FC	肺炎球菌(5)	かぜ症候群(第45週) 下気道炎(第46週) かぜ症候群(第46週)×2 かぜ症候群(第47週)	NP NP NP NP
黄色ブドウ球菌(7)	かぜ症候群(第45週)	NP	インフルエンザ菌b型(1)	かぜ症候群(第47週)	NP
	かぜ症候群(第46週)	NP	インフルエンザ菌b型 以外(3)	かぜ症候群(第43週)	NP
	かぜ症候群(第46週)	NP		かぜ症候群(第46週)	NP
かぜ症候群(第46週)	NP		RSウイルス感染症(第47週)	NP	
RSウイルス感染症(第46週)	NP				
感染性胃腸炎(第47週)	FC		マイコプラズマ・ ニューモニエ(1)	かぜ症候群(第44週)	NP

### 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

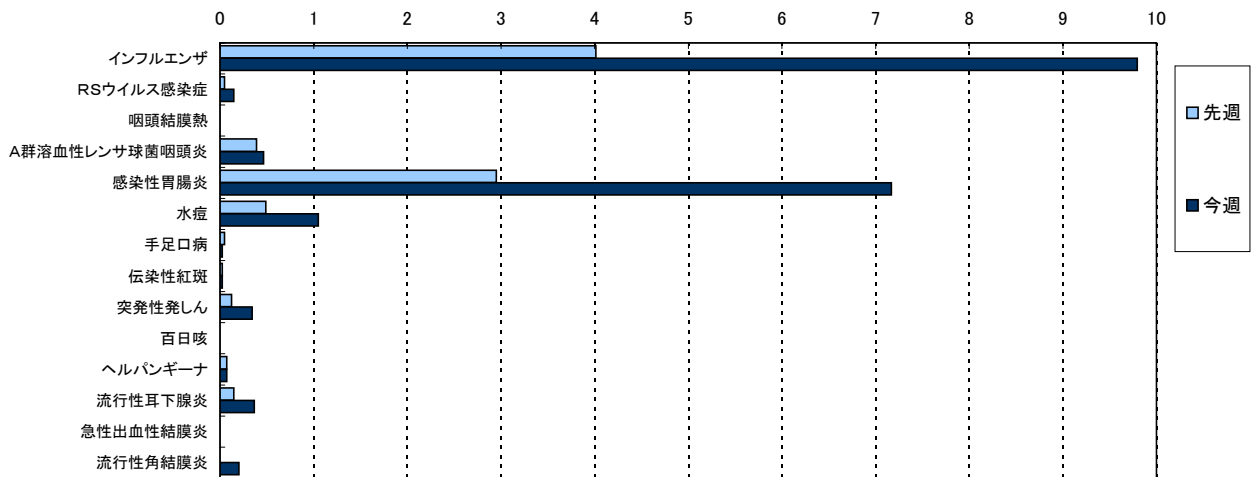
(注) 京都市のデータは、平成21年1月16日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。

病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

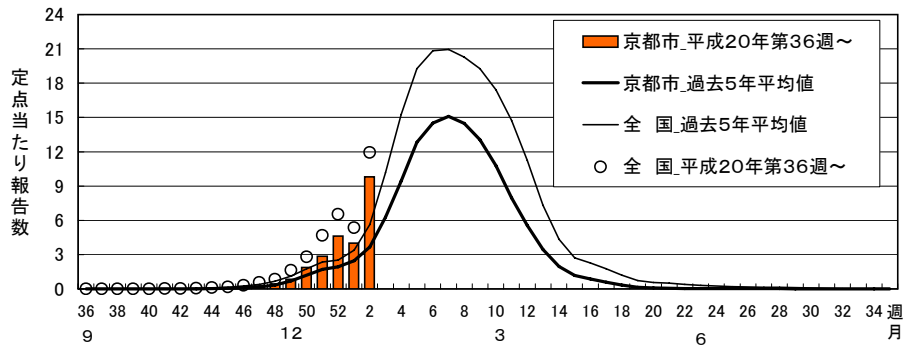
# ◆ 発生状況の概況グラフ

## 1 今週(第2週)と先週(第1週)の定点当たり報告数の比較



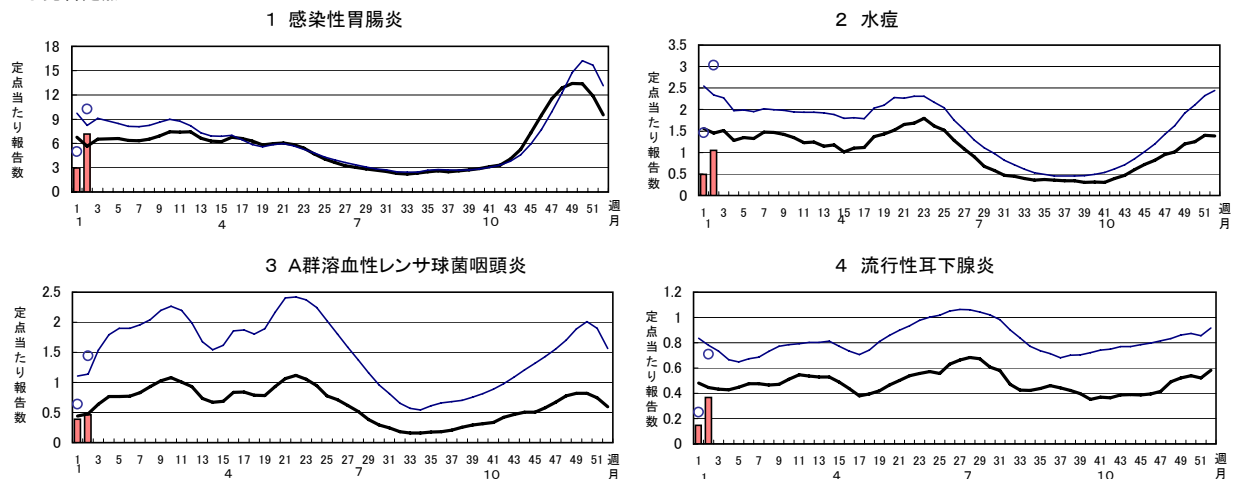
## 2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
第50週	127
第51週	201
第52週	314
第1週	273
第2週	666
累積報告数 (第36週以降)	1701

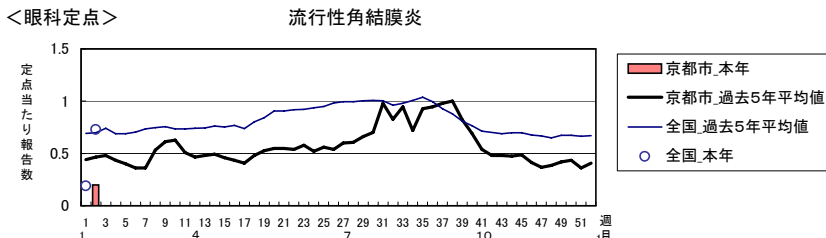


## 3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



# 今週(第2週)のトピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は9.79で、注意報の目安となる10.0に近付いており、すでに11行政区中5行政区では、注意報(10.0)を超えています。

また、近畿6府県では、すべて10.0以上となっています。

年齢階級別割合をみると、20～29歳が22.5%と最も多く、次いで30～39歳が17.1%となっています。また、15歳未満の割合は38.1%で、先週(18.7%)と比べて増えています。

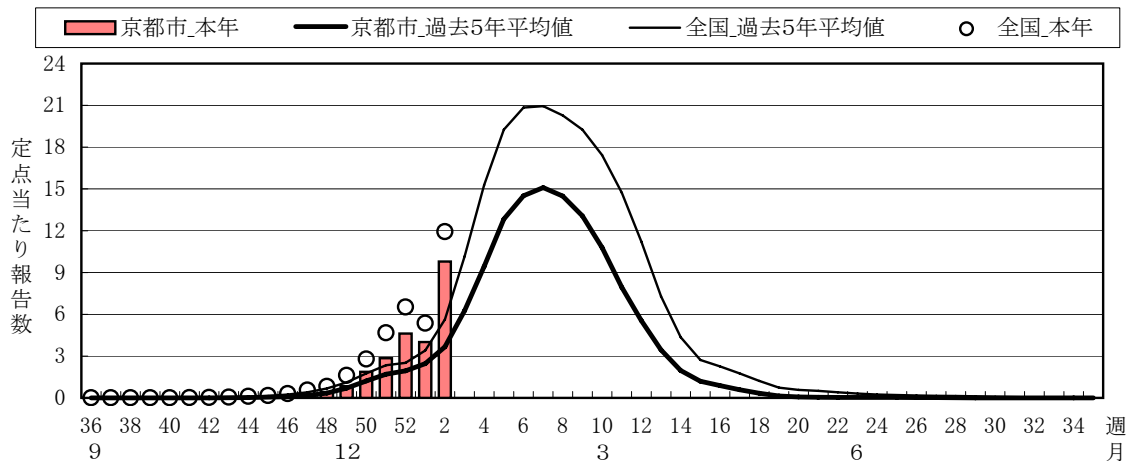
今シーズンのインフルエンザウイルスは、1月14日現在、本市では、A(H3)型 1例、B型 1例、全国では、A(H1)型 296例、A(H3)型 324例、B型 128例となっています。

なお、今シーズンの国内のA/H1N1オセルタミビル耐性株は、52株中51株となっています。

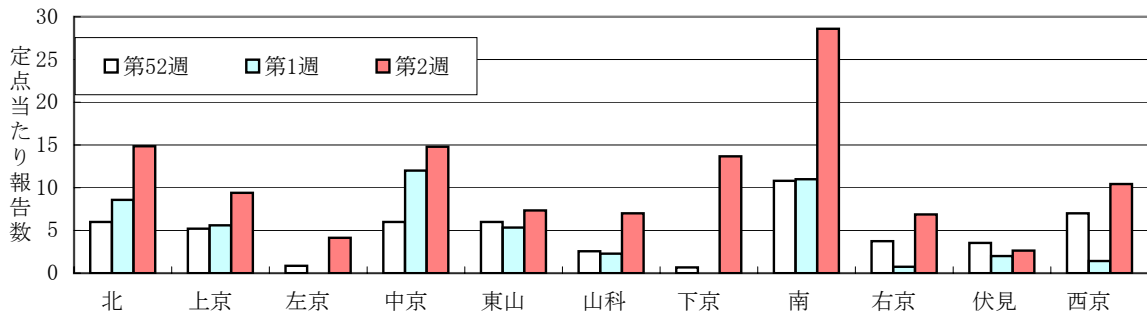
詳細は、国立感染症研究所；病原体情報 [IASR] (1月19日) を御覧ください。

(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/pr3483.html>)

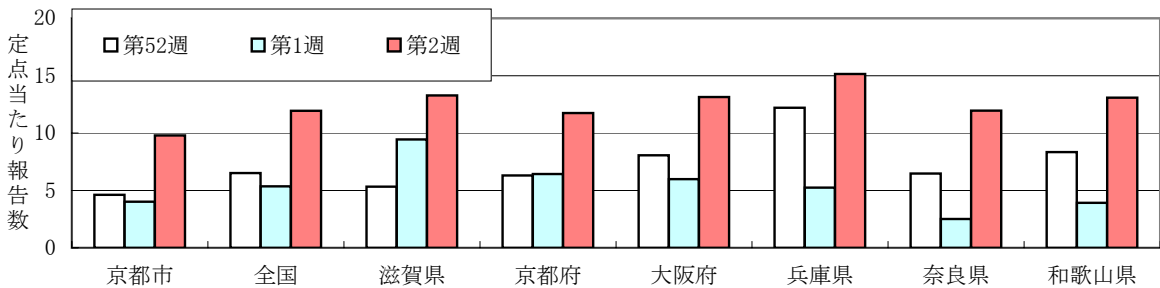
本市及び全国の定点当たり報告数の推移(平成20年36週～)



行政区別の定点当たり報告数



本市、全国及び近畿6府県の定点当たり報告数



本市の年齢階級別割合

